

## 中野区緑の実態調査（第5次）の結果について

平成28年度に実施した中野区緑の実態調査（第5次）の結果について、その概要を報告する。

### 1 調査目的

中野区の緑の現況を把握し、中野区みどりの基本計画の改定に活用する。

### 2 調査対象

中野区全域 15.59 平方キロメートル

### 3 調査方法

#### (1) 航空写真撮影

平成28年7月7日にデジタル航空写真を撮影し、画像から解析用データを作成して分析した。

#### (2) 現地調査

大きな樹木・接道部緑化・壁面緑化は、現地調査を実施した。

### 4 調査結果の概要

#### ① 緑被率・緑被面積

	H28年度調査	H19年度調査	比較
緑被率	16.14%	16.37%	-0.23ポイント
面積	251.35ha	254.96ha	-3.61ha

※ 緑被率は、緑被地(樹木+草地+屋上緑化)面積の区全体に占める割合

要因 減少の主な要因は、規模の大きな住宅地の開発(マンションや小規模分譲住宅への建替)に伴い中小規模の樹木や樹林が消失したことによる。

#### ② 樹林の面積・箇所数

	H28年度調査	H19年度調査	比較
面積	47.83ha	59.47ha	-11.64 ha
箇所数	238箇所	306箇所	-68箇所

※ 樹冠面積300㎡以上、平均樹高7m以上の樹木の集団

要因 減少の主な要因は、比較的大きく古い集合住宅の建替や民有樹林地の宅地化により消失したことによる。

#### ③ 屋上緑化の面積・箇所数

	H28年度調査	H19年度調査	比較
面積	2.81ha	1.78ha	+1.03ha
箇所数	921箇所	807箇所	+114箇所

※ 建築物上の1㎡以上の緑被地、建物ごとに1箇所と数える

要因 増加の主な要因は、小中学校、大学、集合住宅などの比較的大きな屋上緑化の進展である。

④ 大きな樹木の本数

	H28 年度調査	H19 年度調査	比較
本 数	5,578 本	6,151 本	-573 本

※ 樹高 9m以上の樹木のうち地上高 1.5m で幹周り 1m 以上のもの

**要因** 減少の主な要因は、樹木の生長により新たに確認された樹木も多いが、それ以上に住宅地の開発で消失しているものが多い。公園等の整備に伴い、新植の樹木がまだ育っていない現状もある。なお、幹周り 3m以上のいわゆる巨木は増えており、特に大きい樹木は残る傾向がみられる。

⑤ 接道部緑化の延長・箇所数

	H28 年度調査	H19 年度調査	比較
延 長	63,527m	59,282m	+4,245m
箇所数	6,143 箇所	3,996 箇所	+2,147 箇所

※ 生け垣は高さ 1.2m 以上、植栽帯は高さ 30 cm以上 1.2m 未満で、いずれも長さ 1.8m 以上を対象

**要因** 増加の主な要因は、区の緑化計画書制度の対象となる敷地において接道が 5m 以上の場合に接道部緑化が義務化されており、その効果が出ているものと推測される。(200 m<sup>2</sup>以上の敷地が対象となるほか、300 m<sup>2</sup>以上の敷地を分割し建築しようとする場合も制度の対象となる。)

⑥ 壁面緑化の面積・箇所数

	H28 年度調査	H19 年度調査	比較
面 積	4,832 m <sup>2</sup>	3,083 m <sup>2</sup>	+1,749 m <sup>2</sup>
箇所数	130 箇所	123 箇所	+7 箇所

※幅員 3.6m 以上の道路及び河川沿いの道路等から確認できるもの

**要因** 増加の主な要因は、中野四季の都市の大学や区内の教育施設で比較的大きな壁面緑化が図られたことによる。

⑦ 街路樹の本数

	H28 年度調査	H19 年度調査	比較
本 数	5,102 本	4,698 本	+404 本

※区内の区道及び都道における街路樹の本数(区 1309+都 3793)

**要因** 増加の主な要因は、中野四丁目等のまちづくりに基づく街路樹道路の整備に伴うものである。

⑧ 緑地の面積(公共的な緑地)

	H28 年度調査	H19 年度調査	比較
面 積	87.14 ha	82.48ha	+4.66ha

※ 緑地は、中野区みどりの基本計画に基づき、「都市施設としての緑地」である公園等、「制度上安定した緑地」である生産緑地、保護樹林等、「社会通念上安定した緑地」である社寺境内、公社住宅の遊園等を言う。

**要因** 増加の主な要因は、保護樹林や生産緑地などが減少する反面、中野四季の森、白鷺せせらぎ、本五ふれあい、南台いちょうの各大規模公園の整備などによる。

## ⑨ みどり率

	H28 年度調査	H19 年度調査	比較
みどり率	17.46%	17.54%	-0.08ポイント

※ みどり率は、緑被地(樹木+草地+屋上緑化)に、河川等の水面の占める面積と公園の緑で覆われていない面積を合わせた面積の区全体に占める割合

現在、都がみどりの指標として定めているみどり率は、緑の被覆地だけでなく、緑を形成するために大切な周辺施設である公園や水辺を含めた領域が占める割合を表している。区においても中野区みどりの基本計画の指標としている。

**要因** 減少の主な要因は、みどり率の主要部分を占める緑被率が0.23ポイント下がったことによる。しかしながら、中野四季の森、白鷺せせらぎ、本五ふれあい、南台いちょう各大规模公園の整備により公園面積が増えたことから、0.08ポイントの減にとどまった。

## ⑩ CO2 吸収量試算

	H28 年度調査	H19 年度調査	比較
CO2 吸収量	3,377t-CO2/年	3,467t-CO2/年	-90t-CO2/年

※低炭素まちづくり計画作成マニュアル(国土交通省平成24年12月)により算出

**要因** 減少の主な要因は、算出係数の対象となる樹木地面積が減少したためである。

## 5 調査結果の概要版

別添のとおり

## 6 今後の予定

- ・平成29・30年度 中野区みどりの基本計画改定

# 中野区緑の実態調査（第5次）概要版（平成28年度）

## 緑被率

**16.14%**

平成19年度 16.37%

空から地上をながめたとき、樹木や草地などで被われた部分を緑被地といいます。緑被地の割合＝緑被率です。

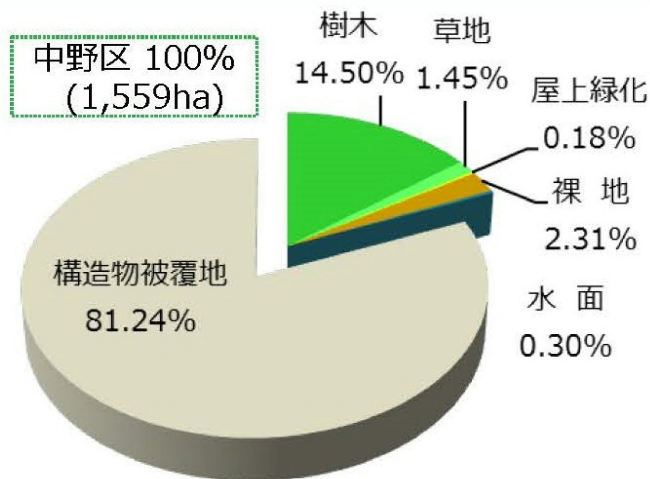
※緑被率とは・・・緑被地(樹木+草地+屋上緑化)面積の区全体に占める割合

## 緑被面積

**251.35ha**

平成19年度 254.96ha

※緑被面積とは・・・樹木、草地、屋上緑化で覆われている面積



緑被等の構成比

### 緑被の推移

前回調査（第4次）と比較し、緑被率は0.23ポイント減少しています。主な要因は、敷地の広い宅地の開発(マンション等への建替)に伴う中小規模の樹林や樹木の消失によると考えられます。

## 町丁目別の緑被率

緑被率が15%以上の町丁目は、中野区の北側に多くなっています。特に北東地域の平和の森公園、江古田の森公園等の大きな公園のある町丁目の緑被率は25%以上です。

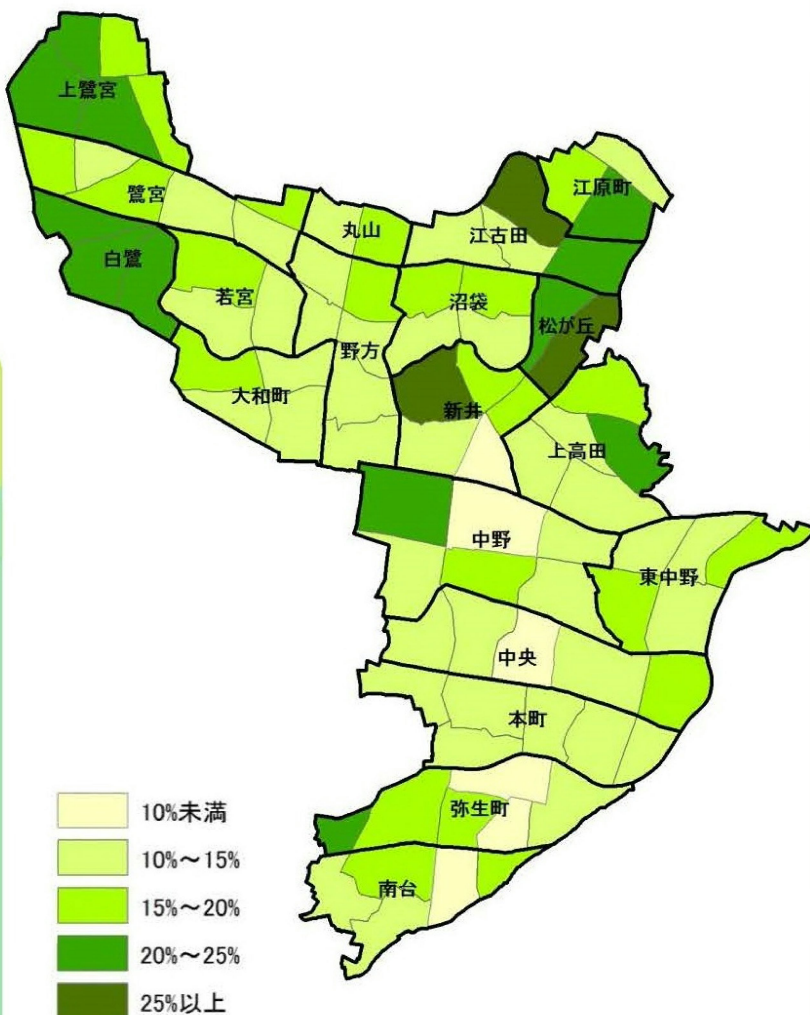
**みどり率 17.46%**

平成19年度 17.54%

### みどり率の推移

敷地の広い宅地の開発により、樹木地が大きく減少しましたが、中野四季の森、白鷺せせらぎ、本五ふれあい、南台いちょうなどの大規模公園が新たに開設したため、みどり率は0.08ポイントの減にとどまりました。

※みどり率とは・・・緑被地（樹木+草地+屋上緑化)に河川等の水面の占める面積と公園の緑で覆われていない部分を合わせた面積の区全体に占める割合



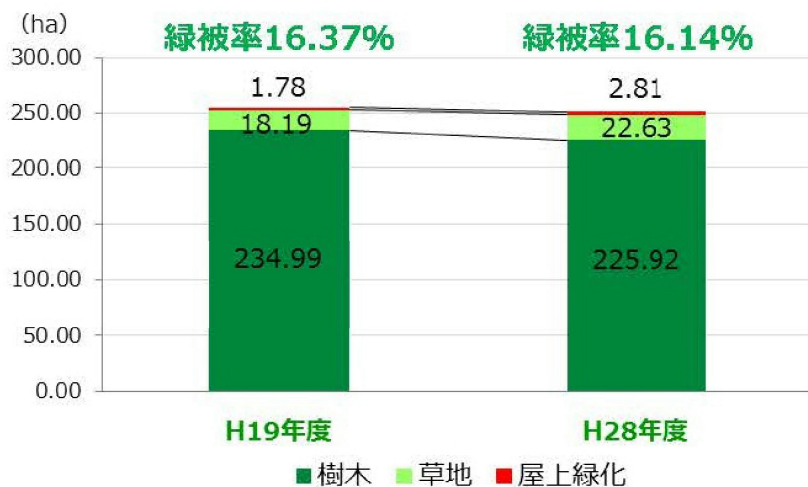


## 緑被率の経年変化

緑被率は減少

平成19年度からは、樹木地が減少しましたが、草地と屋上緑化は増加しています。

草地は新たに芝生化された区立学校の校庭と新設の大規模公園内に多くみられます。屋上緑化は中野四丁目等に新たに建設された大規模建築物上に多くみられます。



## 樹林

47.83ha 238箇所

【調査対象】樹冠面積が300㎡以上  
平均高さ7m以上の樹木の集団

平成19年度：59.47ha 306箇所



平成28年度の区全域の樹林は238箇所、47.83haで、これは区全体面積の3.07%に当たります。形態別の樹林面積では、公園の樹林が4.39ha、社寺林が1.03ha増加しましたが、集合住宅の樹林、屋敷林、その他の樹林では減少しています。

保護指定樹林についても、この9年間で10箇所、1.95haの解除がありました。民有地の樹林が相続などで大きく減る傾向にあります。



## 接道部緑化

63,527m、6,143箇所

【調査対象】生け垣：高さ1.2m以上長さ1.8m以上  
植栽帯：高さ1.2m未満長さ1.8m以上

平成19年度：59,282m、3,996箇所



接道部緑化（敷地のうち道路に接した部分）の延長は、緑化計画書制度による緑化指導もあり、19年度と比較して4,245m増加しています。

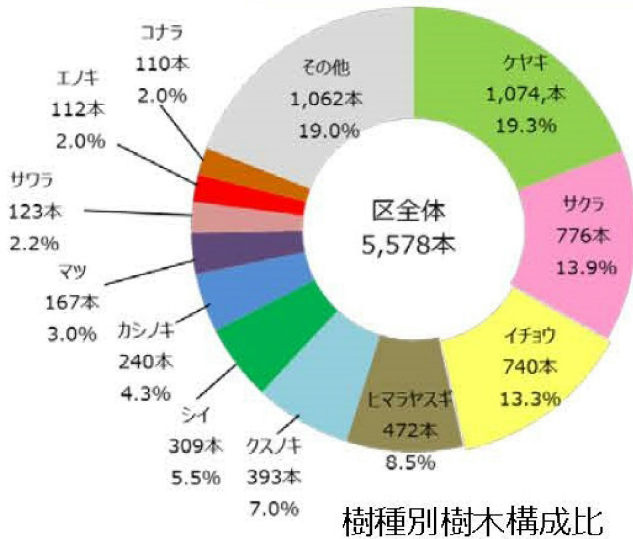




## 大きな樹木： 5,578本

【調査対象】幹周り1m以上、  
高さ9m以上

平成19年度： 6,151本



樹木の生長により新たに確認されたものもありますが、全体数は減っています。幹周り3m以上では17本増えており、巨木は残りやすい傾向があります。

## 壁面緑化： 4,832㎡ 130箇所

平成19年度： 3,083㎡ 123箇所

面積は4,832㎡で、1箇所当たりの平均緑化面積は37.2㎡でした。新たにできた大学等で大規模な壁面緑化が見られ増えています。

### 知っていますか？

昭和54年に緑化推進の区のシンボルとなるものとして区民から募集し決めたものです。

#### 区の木 シイ



#### 区の花 つつじ



## 屋上緑化： 2.81ha 921箇所

平成19年度： 1.78ha 807箇所

区全体の屋上緑化は平成19年度より114箇所、緑化面積は10,254㎡増加しました。大学や小中学校等の教育施設、大規模な商業施設に屋上緑化が多く、1か所あたりの規模も大きいことが確認されています。

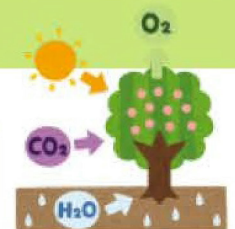


屋上緑化の推移

## CO<sub>2</sub>吸収量： 3,377t-CO<sub>2</sub>/年

平成19年度： 3,467t-CO<sub>2</sub>/年

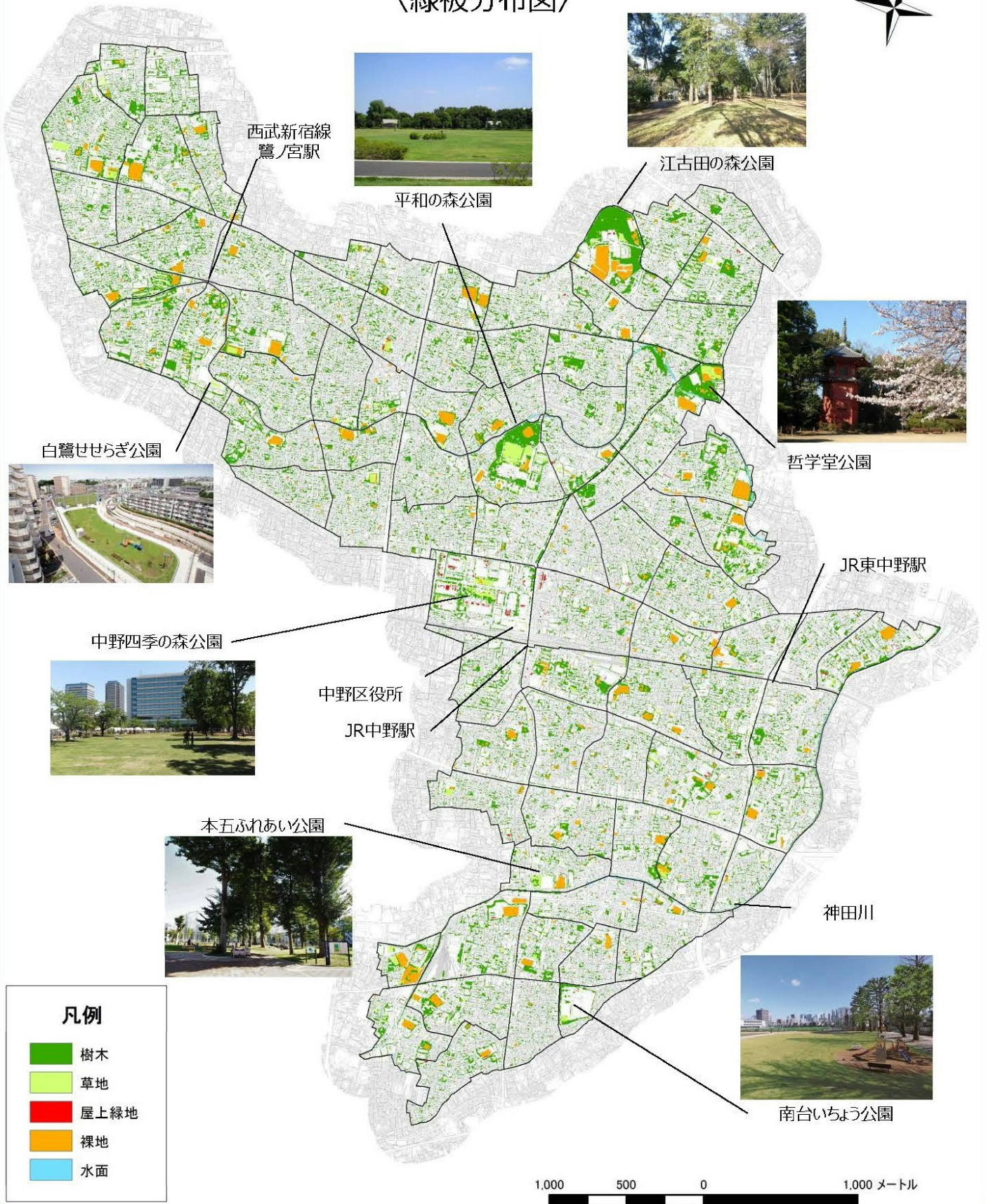
区全体の樹木と屋上緑化によるCO<sub>2</sub>吸収量は、3,377t-CO<sub>2</sub>/年でした。これは、約1,225世帯分のCO<sub>2</sub>排出量に相当します。





# 中野区の緑の分布

## 〈緑被分布図〉



### 凡例

- 樹木
- 草地
- 屋上緑地
- 裸地
- 水面

## 中野区緑の実態調査（第5次） 概要版 平成28年度

調査は平成28年6月から12月に実施

発行：中野区 環境部 地球温暖化対策担当

住所：〒164-8501

東京都中野区中野四丁目8番1号

電話：03-3389-1111（代表）

URL：<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>  
28中環地第2778号